

表1 火災発生状況

令和元年	帯広市	全国（概数）
総出火件数	49件	3万7538件
住宅火災	17件	1万696件
総死者	2人	1477人
住宅火災による死者数	2人	858人

表2 帯広市の住宅火災被害状況

令和元年	設置なし	設置あり
負傷者	3人	0人
焼損床面積	300㎡	149㎡
損害額	1985万5000円	764万8000円

令和元年中における帯広市の住宅火災の被害状況は、住宅用火災警報器を設置している場合は、負傷者は出ておらず、設置していない場合に比べ、焼損床面積は約5割、損害額は約6割低くなっており、被害軽減に大きな効果があると言えます。（表2）

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知し、火災が発生したことを知らせる警報器です。

住宅用火災警報器の効果

令和元年中の全国における住宅火災の件数は総出火件数の約3割ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約6割を占めています。帯広市においても、同年中の総出火件数の約3割が住宅火災で、火災による死者2人も、住宅火災によるものでした。（表1）

火災死者の約6割は住宅で発生

問い合わせ
26・9124

住宅用火災警報器は、住宅内で起きた火災をいち早く感知し、住人に知らせることで、火災の被害を最小限に抑えてくれます。

住宅用火災警報器 交換のすすめ
10年たったら、とりカエル。



私たちの命を守る 住宅用火災警報器

住宅防火の切り札

住宅用火災警報器の設置状況

今年全国で実施した住宅用火災警報器の設置状況の調査では、十勝は全国・全道平均よりも設置率が低いことが分かりました。（表3）

現在、住宅に設置していない場合は早急に設置し、すでに設置している場合は正常に機能するか定期的に点検しましょう。

表3 全国の設置率
（令和2年7月1日時点）

全国	82.6%
北海道	84.1%
十勝	82%

無くそう！住宅火災

住宅火災の主な原因は、たばこ、ストーブ、こんろです。これらの火災を起こさないために「三つの習慣・四つの対策」を心掛けましょう。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

習慣1
寝たばこは絶対しない

習慣2
ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する

習慣3
ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

対策1
逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する

対策2
寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する

対策3
火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する

対策4
お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

住宅用火災警報器によって火災を未然に防げた事例

事例1

電子レンジでチョコレートケーキを温めていたところ、過熱により水分が蒸発、炭化し煙が発生。寝室に設置された住宅用火災警報器が作動し、居住者が気付いたため火災には至らなかった。（道内）

事例2

みそ汁の入った鍋をガスこんろで温め、火を消し忘れてその場を離れ、居間にいたところ、階段踊り場上部に設置された住宅用火災警報器が作動し、居住者が気付いたため火災には至らなかった。（道内）

女性に対する暴力とは

配偶者からの暴力（DV）やデートDV、性犯罪、売買春、セクハラ、ストーカー行為、人身取引など、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されない行為です。

また近年では、「AV（アダルトビデオ）出演強要」「JK（女子高生）ビジネス」など、若い女性が被害を受ける問題も起きています。

安心して相談を

暴力を繰り返し受けたり、性暴力の被害などを受けると、外傷が治った後も、本来の自分を取り戻せず、日常生活を送ることが困難になるほどの深刻な心理的被害を受けることもあります。

不安な気持ちをひとりで抱え込むのはとてもつらいことです。信頼できる友人や家族など周りの人と話をしてみたり、専門の相談窓口に相談することで、気持ちが少しほつとるかもしれません。

ひとりで悩まず、安心して相談



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

ひとりで悩まないで パープルリボン運動



帯広市 DV

検索

11月12日～25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。市では、女性に対するさまざまな暴力の相談を受け付けています。

問い合わせ

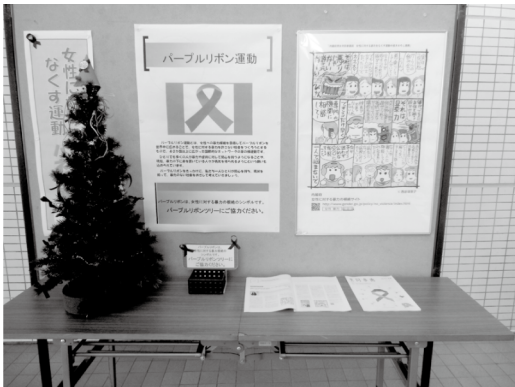
市民活動課男女共同参画係（市庁舎3階、☎65・4230）

してください。（秘密厳守）

パープルリボン運動とは

パープル（紫色）のリボンには、女性に対する暴力根絶と、被害者への「あなたはひとりではない」というメッセージが込められており、パープルリボンを身に着けることで、それらのメッセージに賛同していることを示します。

パネル展会場にパープルリボンを用意していますので、この機会



パープルリボン運動に参加しませんか

にパープルリボン運動に参加し、暴力のない社会づくりを考えてみませんか。

女性に対する暴力をなくす運動 パネル展

市では「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、毎年パネル展を開催しています。

日時 11月12日（木）～25日（水）、平日8時45分～19時 ▼土・日曜日、祝日10時～17時

場所 市民ホール（市庁舎1階）

ひとりで悩まないで 市の女性に対する暴力の相談窓口

DV被害者相談 ☎65・4230

（女性相談サポートライン）

場所 市民活動課（市庁舎3階）
受付時間 平日8時45分～17時30分（祝日・年末年始を除く）

「女性相談の日」 ☎65・4200

場所 市民相談室（市庁舎1階）
受付時間 毎週木曜日8時45分～17時30分（祝日・年末年始を除く）



「相手が暴力を振るうのは自分が悪いから...」
いいえ、違います。

どんな理由があっても、暴力を振るわれていい人は、ひとりもいません。

ひとりで悩まずにご相談ください。